

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	1403 (課長会議)
		決裁期日	平成 27 年 2 月 12 日
名 称	臨時課長会議		
日 時	平成 27 年 2 月 12 日 (木) 9 時 00 分 ~ 10 時 10 分		
場 所	役場 3 階 第 2 会議室		
出席者	町長、副町長、教育長 各課長 11 人 (欠席 1 人)、上富良野消防署長 事務局 1 人 計 16 人		

内 容

### ◎町長あいさつ

- ・新年度予算編成に当たっては苦勞いただいたところである。また、知恵を絞り協力いただいたことに感謝申し上げる。3 月定例会に向けても、協力をお願いする。

### 進行：副町長

#### 1 平成 26 年度一般会計補正予算 (第 13 号) について

総務課長：・資料 1 により説明。

副 町 長：・補正予算について全体で確認する。

#### 2 平成 27 年度予算について

総務課長：・資料 2 により説明。

- ・平成 27 年度の一般会計予算総額は、75 億 3500 万円で、前年度より 4 億 5300 万円、6.4%の増となった。
- ・特別会計等を含めた総額予算は、121 億 631 万 6 千円となっている。

副 町 長：・行政課題が多く、予算編成には苦勞したところであるが、平成 27 年度予算がまとまった。地方交付税が伸びる予想もできず、今後も厳しい状況である。

- ・財源の有効活用は、今後も引き続き考えていかなければならないが、その意識の共有について、改めて確認する。

教 育 長：・当初予算の厳しさと現年の補正予算を比較しても、ギャップを感じる。予算編成時の精度を上げるよう、それぞれ意識しながら努力することが必要でないか。

副 町 長：・平成 27 年度予算編成では、義務的・準義務的経費の 3 年間の実績を踏まえ計上しているなど努力のあとが見られるが、これまでの執行残や執行率を踏まえ、当初予算から精度を上げることは必要である。

- ・執行残については、早くに補正し、有効な財源を出すように願う。
- ・予算額については、全体で確認する。

### 3 その他

#### (1) 3 月定例町議会提出議案の確認について

総務課長：・資料 3 により説明。

- ・行政報告の取りまとめについて、2/19 (木) までに願う。項目の追加等がある場合は、連絡を願う。

副 町 長：・新年度予算の補足説明資料について、事前に理事者協議が必要であることから、まだ済んでいない課は早めの協議を願う。新規事業は漏れののないよう作成して欲しい。また、委員会資料についても事前協議を速やかに願う。

#### (2) 町政運営実践プラン（案）について

総務課長：・別添資料により説明。

- ・1 月の定例課長会議で文言の追加・修正等について願うをしたが、いただいた意見をまとめて、今回提出している。取組プランについては 2/20 (金) までに願う。

副 町 長：・2 課長からの意見をいただいた。これをまとめて作成しており、本日の課長会議において、文言について組織決定したいと考えている。

町 長：・国において、地域のオリジナリティが求められていることから、地域で争うことによる軋轢も懸念される。地方の思いはなかなか届かないが、厳しい状況の中で、お互いの思いを共有することが大事だと考えている。

保健福祉課長：・新しいプランは、その策定過程が大切であり、基本的な考え方がしっかりしていなければ、意識の共有は難しいのではないか。そういった面では、不安を感じるころである。策定過程において基本が固まっていないと、策定したとき緩くなることを危惧している。

副 町 長：・これまでの改善プランから実践プランとし、実践に力を置いたものとしていることについて、それぞれが意識を持って取組んで欲しい。行財政改革は、自治体の力量により、変わってくるものである。このプランは、取組項目が重要になってくるので、その組み立てをしっかりと行って欲しい。

- ・このプランの文言については、この会議をもって、組織決定とする。

副 町 長：・以上で会議を閉じる。

【10 時 10 分終了】